

平成22年 第1回 能登町議会臨時会 会期日程表

平成22年2月

会 期	日	曜	開議時刻	摘 要
第 1 日	23日	火	午前11時00分	開 会 会議録署名議員の指名 会 期 の 決 定 諸 般 の 報 告 議 案 上 程 提 案 理 由 の 説 明 質 疑 ・ 討 論 ・ 採 決 閉 会

開 会（午前１１時３０分）

開会・開議

議長（山崎元英）

ただいまから、平成２２年第１回能登町議会臨時会を開会します。ただいまの出席議員数は２０人で、定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。本日の議事日程はお手元に配布のとおりであります。

会議録署名議員の指名

議長（山崎元英）

日程第１「会議録署名議員の指名」を行います。会議録署名議員は、会議規則第１１９条の規定によって、９番石岡安雄君、１０番菊田俊夫君を指名いたします。

会期の決定

議長（山崎元英）

日程第２「会期の決定」の件を議題にします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日１日にしたいと思います。

これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声）

異議なしと認めます。

よって、会期は本日１日とすることに決定いたしました。

諸般の報告

議長（山崎元英）

日程第３「諸般の報告」を行います。

地方自治法第１２１条の規定により、本臨時会に説明員の出席を求めたところ、説明員として本日の会議に出席している者の職・氏名は、別紙の説明員名簿として、お手元に配布しましたのでご了承を願います。

これで、諸般の報告を終わります。

議案第 1 号～議案第 5 号

議長（山崎元英）

日程第 4 議案第 1 号「財産の取得について」から日程第 8 議案第 5 号「奥能登広域圏事務組合規約の変更について」までの以上 5 件を一括議題といたします。町長から提案理由の説明を求めます。

町長 持木一茂君。

提案理由の説明

町長（持木一茂）

本日ここに、平成 22 年第 1 回能登町議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位には、ご多用の折にもかかわらず、ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

本日提案いたしております、各議案の提案理由をご説明する前に、一言ごあいさつを申し上げます。

国立感染症研究所によりますと、1 月 25 日から 31 日までの週における新型インフルエンザの感染者数は減少傾向にあり、警報レベルを超えている地域は 17 県、注意報レベルのみの地域は 18 都道府県と共に減少しています。

石川県は、警報及び注意報とも該当地域になっておりませんが、隣接の福井県は警報レベルを超え、全国的には 3 番目に発生患者が多い県となっていますので、町民の皆様におかれましては、引き続き、感染の拡大防止にご注意願います。

また、健康成人等のワクチン接種につきましては、去る 1 月 21 日から予約受付を開始し、2 月 2 日から希望されるすべての方のワクチン接種を開始しています。ワクチン接種には、発病、重症化、死亡を抑える効果が期待できますが、接種後に腫れや発熱、あるいはごくまれなケースですが、重い副作用を引き起こすこともありますので、接種するかどうかは、医師からの説明や情報を踏まえ、個人の判断により接種を受けていただくようお願いします。

次に、去る 1 月 24 日に、町制 5 周年を記念して、海上自衛隊の舞鶴音楽隊による「ふれ愛コンサート」を能都社会福社会館 4 階の大集会所で開催し、深みのある吹奏楽の音色が、会場を埋め尽くした 600 人の観客を魅了しました。同音楽隊は昭和 30 年に創設され、富山県から鳥取県までの 2 府 9 県を中心に、コンサート活動や学生への演奏指導などを行っています。演奏は 2 部構成で行われ、アニメの主題歌やメドレー、演歌など十数曲が演奏され、小学生から高齢者までの幅広い年齢層の観客らは、それぞれの楽器が奏でる迫力ある演奏に

聴き入っていました。当日は、どうか満席になって欲しいと言う気持ちでいっぱいでしたが、立ち見が出るほど大勢の皆様にお越しいただき大変感謝申し上げます。実行委員会の主体となる能登町音楽愛好会並びに関係者の皆様のご支援により、5周年記念事業を無事終えることができましたことを心から感謝申し上げますとともに、超満員で、立ち見でご覧になられた皆さんには心よりお詫び申し上げます。

そして、来る3月1日午前10時より町制施行5周年記念式典を、能都社会福祉会館4階の大集会所で挙行政いたします。議員の皆様と共に、改めて5周年の節目の年をお祝いしたいと思いますので、ご多忙とは存じますが、ご臨席を賜りますようお願いいたします。

それでは、今回ご提案いたしました議案5件につきまして、その大要をご説明いたします。

はじめに、議案第1号「財産の取得について」は、移動通信用鉄塔施設の付帯設備である通信設備機器の購入についてであります。現在、本年度当初予算に4局、6月補正予算には地域活性化・公共投資臨時交付金などにより10局の追加事業採択を受け、計14局の整備を行い、携帯電話不感地域の解消に努めているところであります。

N T T ドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイル、各携帯電話事業者の通信機器類の多くは、それぞれの特許や機密性が高い各社専用の製品であるため、これらについては仕様を公開してメーカーや請負者に価格を競わせることが出来ないことから、競争入札に適しない機器類となっています。このため、汎用的な機器類を除き、事業主体である町が携帯電話事業者から備品として購入し、工事請負業者に支給するという形式を取ることとなります。

以上のことから、各携帯電話事業者から指定されたこれらの機器類については備品購入として、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき携帯電話事業者と随意契約を行うものであります。

今回、提案した件については、追加整備10局への設置を対象とした、通信設備（N T T ドコモ方式）機器（その2）の購入にあたり、去る2月12日に「株式会社 エヌ・ティ・ティ・ドコモ北陸支社」から見積を徴収した結果、2, 629万4, 455円となりましたので、地方自治法第96条第1項第8号及び能登町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を賜りますようお願いいたします。

次に、議案第2号から議案第4号までの3件につきましては、学校施設の耐震補強改修工事の請負契約の締結についてであります。

学校施設は、多くの児童・生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であることから、安全な環境を確保することが重要です。

また、地域住民にとっても最も身近なコミュニティの拠点であり、非常災害時には応急避難場所としての防災機能を担います。このため、教育委員会では、国の補助制度を活用し財源の確保に努めながら学校施設の耐震改修等を計画的に進め、今後も安全・安心な教育環境を整備・充実することにしていきますのでよろしくお願いいたします。

それでは、議案第2号「請負契約の締結について（平成21年度安全・安心な学校づくり交付金事業（地域活性化・公共投資臨時交付金事業）能登町立小木小学校（校舎）耐震補強改修工事）」については、去る2月15日に制限付き一般競争入札を行いましたところ、7,666万500円で新潟県新潟市の株式会社間組北陸支店が落札致しましたので、地方自治法第96条第1項第5号及び能登町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第3号「請負契約の締結について（平成21年度安全・安心な学校づくり交付金事業（地域活性化・公共投資臨時交付金事業）能登町立柳田中学校耐震補強改修工事）」につきましても、去る2月15日に制限付き一般競争入札を行いましたところ、8,650万7,400円で金沢市の松井建設株式会社北陸支店が落札致しましたので、地方自治法第96条第1項第5号及び能登町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第4号「請負契約の締結について（平成21年度安全・安心な学校づくり交付金事業（地域活性化・公共投資臨時交付金事業）能登町立松波中学校（屋内運動場）耐震補強改修工事）」につきましても、去る2月15日に制限付き一般競争入札を行いましたところ、7,161万円で輪島市の株式会社宮地組が落札致しましたので、地方自治法第96条第1項第5号及び能登町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第5号「奥能登広域圏事務組合規約の変更について」は、奥能登広域圏事務組合における共同処理事務及び経費の支弁方法の変更に伴い、地方自治法第286条第1項の規定により当該組合規約を変更するに当たり必要となる協議について、同法第290条の規定により議会の議決を賜りますようお願いいたします。

以上、本臨時会に提出いたしました議案等につき、その大要をご説明申し上げましたが、議員各位におかれましては、慎重なるご審議をいただきまして、適切なるご決議を賜りますようお願い申し上げます。提案理由の説明を終わらせていただきます。

何卒よろしくお願いいたします。

(委員会付託の件)

議長（山崎元英）

以上で、提案理由の説明が終わりました。お諮りします。議案第1号から議案第5号までの以上5件については、委員会付託を省略し、全体審議といたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声)

異議なしと認めます。

よって、議案第1号から議案第5号までの以上5件については、委員会付託を省略し、全体審議とすることに決定しました。

質 疑

議長（山崎元英）

これから質疑を行います。質疑はありませんか。12番 山本一朗君。

12番（山本一朗）

耐震の件でお願いいたします。先ほどの全協で谷内課長が経審の点数云々という中で、「子どもの安全・安心」というような文言を言われたかと思うんですが、この「安心・安全」の基準、技術的基準、そういったものは何か指名入札委員会でトータル的に、マニュアル的に、どのように「安心・安全」の区分を技術的にされているのか。もしあるんだったら教えていただきたい。それとも、大きいところは技術的にも大丈夫だから、安心だと単に思われてのものなのか。それとも経審の点数をそのまま「安心・安全」に結び付けていかれたのか、3つの観点からお聞きするんですが、どれが正しいのか教えていただきたい。

議長（山崎元英）

監理課長 谷内正廣君。

監理課長（谷内正廣）

それではただ今の質問にお答えいたします。

まず、小木、柳田、松波中学校ですか。これらにつきましては、小木と柳田については総合点数500点以上と。なおかつ、特定建設業の許可を有してお

るということを示しております。その上、完工高につきましては現在、予定価格に対します3倍ルールということで、規定しております。これは取りも直さず、実績なり経験、それらを技術的に称するものであります。その上でなおかつ、これらの規模につきましては専任の技術者の配置、管理技術者ですね。これらの配置が必要だということ。それから資格については、1級の建築士もしくは1級の施工管理技術者の資格を有しておるといふような諸々の技術的なものを条件として付しております。

そういうことで我々はこれらのほうを担当課と協議しまして、こういうふうな条件で指名委員会にかけて、これらの1500点、それから技術点。そういうものを決定したということでございます。それらは先ほど議員さんもおっしゃったとおりに学校、校舎を耐震補強するわけですから、これから「安心・安全」確実な工事の進捗が望めるだろうという思いで、これらの条件をして決定したということでございます。

議長（山崎元英）

ほかに質疑はありませんか。14番 鶴野幸一郎君。

14番（鶴野幸一郎）

耐震補強改修工事について聞きたいと思います。

この補強工事につきましては小木小学校、柳田中学校、松波中学校とこの3校は施工業者が決定して、これから施工に入っていくわけですが。もう1校、鶴川中学校というものがこの中にあったはずですね。これが不調によって、業者が決定しなかったと。契約が決定しなかったと。こういう話を聞いたわけですが、その不調の理由ですね。これをまずお聞きしたいと思います。

議長（山崎元英）

監理課長 谷内正廣君。

監理課長（谷内正廣）

それではただ今の質問にお答えします。

鶴川中学校につきましては、入札に応じられた会社は5社でございます。そのうち4社が最低制限価格を下回ったということで、無効となりました。それともう1社につきましては、入札に応じる書類不備ということで、これもまた無効となり不調という結果に相成ったということでございます。

議長（山崎元英）

1 4 番 鶴野幸一郎君。

1 4 番（鶴野幸一郎）

5社のうち4社が最低制限価格を下回ったと。1社が書類に不備があったと。こういうお話でしたね。それで契約が不履行、履行出来なくなっただと。こういうお話です。内容については知る由もないんですが、この入札のあり方ですね。少し問題があるんじゃないかなというふうには薄々私にも感じます。最低制限価格を下回る。これは考えられることは厳しい叩きあいがあったんじゃないかと想像出来るわけなんです。それはいいとして。もっとこの制限価格といいますか、予定価格といいますか、これが少し。設計価格というんですか。高すぎたんじゃないかなと。甘いんじゃないかなと。こういうことも考えられます。こういう不調に終わるということは、やはり非常によろしくないなと私非常に思います。特にこういう学校の耐震ですね。先ほどから話にあります、子どもさんの安心・安全に関わる重大なことです。そういう不調があつて工期が遅れる。その間に地震がきたらどうするんだという問題もあるわけですから、しっかり対応していただきたいなというふうにお願いしておきます。

それと同じ監理課長にお聞きしますが、小木、柳田、松波、それぞれの入札の予定価格を言っていたきたい。

議長（山崎元英）

監理課長 谷内正廣君。

監理課長（谷内正廣）

それではただ今の質問にお答えいたします。

まず、小木小学校です。予定価格につきましては、8, 490万円。それと柳田中学校につきましては、9, 580万円。それと、松波中学校です。これにつきましては、6, 990万円ということです。

議長（山崎元英）

1 4 番 鶴野幸一郎君。

1 4 番（鶴野幸一郎）

小木小学校は8, 490万円のところ、7, 660万円。大体8割、80%くらいの落札率ではないかなと。柳田につきましては、9, 580万円の予定のところ、8, 650万円。これも大体8割強ですかね。ところが松波中学校に関しては、6, 990万円の予定のところ、7, 160万円。これは、逆に

高いところへ落ちているような気がするんですが、一体この差はどういうことでこういうことになるのか説明を。ちょっと私は素人で分かりませんので。

議長（山崎元英）

監理課長 谷内正廣君。

監理課長（谷内正廣）

それではお答え申し上げます。今しがた議員さんがおっしゃられた数字なんですけれども、私が申したのは予定価格の話なんですけど、これは税抜きの話なんで、多少、率的なものも違うのかなというふうに思います。そういうことで、税抜きでお話したということで、ご了解いただきたいと思います。

それと、小木小学校と柳田中学校の2件と、松波中学校ですか。これとで落札率が多少違うと。高めにいっていると。こういうことでしたすよね。これにつきましては、当然ながらその会社それぞれが、積算いたしまして、それらを弾き出した数字がこの率としてなったということでございます。

議長（山崎元英）

最後にしてください。14番 鶴野幸一郎君。

14番（鶴野幸一郎）

それじゃ回答になっていませんね。それぞれが弾き出した数字がそうなったと。こんな回答は人を馬鹿にしていますよ。小木あるいは柳田につきましては、県内外からそれぞれ一般公募している。松波中学校につきましては、能登一円という公募の仕方をしている。これによって落札価格が97～98%、ほとんど100%に近いような率になるのと、8割くらいで収まるのと、こういう差が出ているように私は思うんです。こういうことが松波中の場合にはちょっとこの、出来レースじゃないかなと。こういう話にもなってくるわけだね。やはりこれもまた、気をつけてこれからやっていただきたいなど。いただかなきゃいかんことだなと指摘せざるをえません。以上です。

議長（山崎元英）

17番 多田喜一郎君。

17番（多田喜一郎）

ひとつ、まず確認をさせていただきます。先ほどの山本一朗議員さんの中の監理課長の答弁の中で、小木と柳田が500点以上と言ったように聞こえたん

ですが、議事録の確認をひとつお願いいたします。テープに撮っていると思うんですが。

休 憩

議長（山崎元英）

しばらく休憩します。確認してください。（午前 11 時 58 分）

再 開

議長（山崎元英）

休憩前に引き続き会議を開きます。

先ほど、事務局のほうで確認いたしました結果について、事務局長の方から報告させます。（午後 12 時 02 分再開）

議会事務局長（宮下並樹）

ご説明いたします。ただ今、会議録用の収録テープを確認しましたところ、小木、柳田につきましては総合点数 500 点以上というふうに収録されております。以上でございます。

議長（山崎元英）

17 番 多田喜一郎君。

17 番（多田喜一郎）

あのですね、500 点以上という感じで入札をされておるということは監理課長の考えと、入札した業者との感覚が全然違う。これは審議出来ないんですよ。どうするんですか、これ。もっと真剣にこの問題は考えていただきたい。1, 500 点と 640 点のはずなんです。違いますかね。それで皆さんが真剣に入札を行った。それがあたかも 500 点以上ですということは、全然審議にならん。

議長（山崎元英）

監理課長 谷内正廣君。

監理課長（谷内正廣）

ただ今の件につきまして訂正させていただきます。小木小学校、柳田中学校

については総合点数が1, 500点以上。それから松波中学校については、総合点数が640点ということでございます。

誠に申し訳ございませんでした。

議長（山崎元英）

17番 多田喜一郎君。

17番（多田喜一郎）

それではですね、言い直しをしたことにつきまして、論議をさせていただきます。

まず私はですね、この1, 500点の点数の入札ということは本当に奇異に感じるんですよ。例えば熊谷、大成、間、浅沼、鴻池、前田、松井。日本でも有数なトップ企業。1, 500点以上の企業というのは日本ではやはり何十社しかないと思うんですね。そこで私は一体全体、この私達の町の入札に応募した方々のほかに1, 500点以上の業者がどれだけあるのか。それから能登町の入札した方々の年間売上高がどれだけ企業なのか。1, 500点以上とはどういうものかということの説明も私は願いたいと思っております。全く私に言わせれば、不思議なことにしかうつらない。なぜ1, 500点なのか。

そしてもうひとつは、この金額等々につきまして、先ほどのこの説明資料の中に小木小学校、松波中学校が耐震済みとなっておるところがあるんですよ。小木小学校と松波中学校の耐震の済んだ業者と金額はどうなのかということも、これもひとつ提示を願いたいと思います。そして私はこの論議に入りたいと思いますので、議長ちょっと2, 3回かかりますが、ひとつこの問題は能登町の皆さんがきちっと認めていただかなきゃならん、そういう問題かと思っております。なぜならば先ほど言ったように地域活性化公共投資臨時交付金事業なんです。前回の議会にも僅かながらの金額でも、やはり地域に仕事をさせるべきじゃないかというな、立派な議論も出たわけでございます。そういう中でなぜ、1, 500点なのか。そういう何社かのそういうものがどうなのか、ということをもまずひとつお願いします。

休 憩

議長（山崎元英）

しばらく休憩します。休憩時間中に意見の集合をして下さい。

（午後12時08分）

再 開

議長（山崎元英）

休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは答弁をお願いします。谷内監理課長。

（午後 12 時 20 分再開）

監理課長（谷内正廣）

それではお答えさせていただきます。1,500 点以上の業者の数ということですが、全国数多、大きな会社があるわけですが、当町に指名願いが出されている 1,500 点以上の会社といいますと、20 社ということになります。

それとそれぞれの落札された方々の会社の売上高ということでございますが、これにつきましては、個々の会社の情動的なものもございますので、正確な数字といいますか、その辺についてはご容赦いただきたいと思います。大体概算で言いますと、ある会社については 1,000 億円以上とか 700 億円以上とか、10 億円以上とかいうふうな数字になります。

議長（山崎元英）

続いて学校教育課長 井口潔君。

学校教育課長（井口潔）

それではご説明いたします。過去の実績という形なんです、小木小の屋内体育館については平成 18 年に約 7,500 万円ほどで工事を J V という形でさせていただいております。J V で業者名についてはちょっと。

（「それがおかしいんだよ。」という声あり）

学校教育課長（井口潔）

小木小学校については J V ということで鴻池組北陸支店と株式会社岡組です。

松波中については、誠に申し訳ないんですが、資料が今ありませんので、また後でご報告させていただきます。よろしく願いいたします。

議長（山崎元英）

17 番 多田喜一郎君。

17番（多田喜一郎）

今、説明を受けました。しかしながらですね、1,500点以上、能登町に指名願いを出した数が20社というような返事でございます。こんな日本で、何十社しかないような業者をですね、全部の業者を把握しないで入札をかけるということ自体が私はおかしいと思うんですよ。22社なのか、30社なのか、35社なのか。そんなものも分からないで指名審査委員会もおかしいし、監理課長もおかしい。こういうものはきちっと直していかなきゃならない。把握せんと出しておるんですよ。

それともうひとつは、この出した中でも入札公告、役場が出しているんですね。これもですね、見ますとですよ、結果通知における建築工事一式の年間完成高。柳田中学は松井組が取っていますね。松井建設か。これなんかでもですね、完成高が1億ちょっとですよというような書き方なんですよ。松井に至っては750億円の仕事をしておる。熊谷は1,500億円。これは全部公開されておる数字なんですよ。年間の売上高。大成にしては1兆4,000億円。間は2,000億円。浅沼で1,060億円。鴻池で3,150億円。前田で4,700億円。こんな大手にですね、いやしくも年間工事高3億円以上である。このような知識で1,500点以上の業者に入札をかけるということ自体が私は能登町の指名審査委員のレベルが問われる。なぜもうちょっときちっと出来ないんですか。この業者しか出来ない。じゃあ出来ない理屈としてそれも結構でしょう。しかしながら珠洲は一緒に3階建て、1億8,200万円でも地域の業者にしてもらっているんですよ。なぜ能登町だけがこのような大企業なのか。そしてこの大企業が落札率、小木小学校にしては私は数字は確実ではないんですが、ちょっと計算が違っているかもしれませんが、0.8599と。85.99%。柳田中学校で86%なんですよ。これでこの大手がこの地域の業者に下請け出したって利益が上がるわけがない。なぜこんな大手に出すのか。そうして考えてみると、次の松波中学校、これは奥能登の業者が取っていますね。これは宮地組。宮地組の落札率は0.975。97.5%なんですよ。こういう中でも皆さんおかしいと思いませんか。何を基準にしてあなた方は大企業がいいのか。もしも大企業がいいのなら、この松波中もそんなに金額が変わらない。大企業にさせれば86%近くまで下がる。97.5%という数字はないんですよ。これもおかしい。

それからもうひとつは、なぜこれ1,500点の業者にしなきゃならんのか。逆に他のところは体育館と併用な利用等々な所あるんですよ。体育館と本校舎と分けて入札すれば、松波中学校かな、この入札価格と一緒にレベルになる。地域の建設業者が取れるんですよ。こういう分離発注も私は地域の発展の為に振興策として大事かなと思うんですよ。地域活性化公共投資臨時交付金の主旨

を無視したような1, 500点の入札の仕方。分離も考えない。おまけに暇かかって業者の数も分からん。そんな入札が今後も続くんですか。まして鵜川なんてものは、不調に終わった。私独自の考え方なんです、何千億円としている業者が1億円近くのやつに、そんな誠意がどう伝わっているのか感じているんですよ。だから下潜りもする。皆さんは真剣に考えていない。この中に私はね、変な下請け業者が入ってきたりすれば、正にこれ何らかの後ろに変な動きがあると思えないんですよ。地域振興の為になぜ分離発注も出来なかったか。

それからもうひとつは、先ほど言ったやつですね。松波中学校の改修の済んだ資料がない。そんな生易しいことですね、こういう重要な5, 000万円以上の議決を得るそういう議案に対して私はもっと親切に答えていただきたい。なかったら、もういっぺん休憩挟んでもいいから調べていただきたいですよ。議長お願いしますよ。時間もかかるかもしれませんが、これは皆さんにこれが能登町の一番いい方法やと教えるためにも大事なことだと思います。お願いいたします。

議長（山崎元英）

まず答弁からしてもらいます。

17番（多田喜一郎）

はい。分離発注が出来なかったか。

議長（山崎元英）

監理課長 谷内正廣君。

監理課長（谷内正廣）

それではただ今の質問にお答えさせていただきます。分離発注の件でございますが、体育館と校舎との分離についてということでございます。本件につきましては、学校施設と。当然ながら特殊建築物の区分に入ります。であることから、適切な工程管理が当然ながら求められます。分離発注することについては、本件につきましては同一の敷地内の工事で、それぞれ分離しますと監督員が付くことになるということになりますね。そうしますと工程が遅れた場合とか、いろんな諸問題が出てきたときに、その責任が明確でない場合の恐れがあるということで、それがひいては対応の遅れ、工期の遅れということに繋がるかというふうな懸念があります。

一方、一括発注につきましては、一人の監督員が全てを管理するわけですか

ら、責任の所在が明確であるということで当然ながら対応も早いというふうなメリットがあります。そういうことから一括ということになったわけでありです。

議長（山崎元英）

資料の提出につきましてですけれども、学校教育課長、答弁をお願いします。

学校教育課長（井口潔）

申し訳ないんですけれども、時代がちょっと古いということで、今しばらく時間をいただきたいと思います。

議長（山崎元英）

17番 多田喜一郎君。3回目ということで、よろしくお願いします。

17番（多田喜一郎）

はい。私も最後ということで、上手くまとめられないかもしれませんが、やはり工期の遅れだとかというような話になってくるとですね、先ほど山本議員が言われたように、この地域の業者じゃ何も出来ないようになってくる。この地域の業者が駄目だという論法なんです、能登町は。しかしながら、輪島も珠洲も穴水も県立の高校の行った耐震工事も全部それなりのところに対応しておるんですよ。そんな全部が大手の対応じゃない。そういうところをやっぱりもうちょっと、考えていただきたい。

もういっぺん改めて、なぜ1,500点以上でなければならなかったのか。これは、監理課長も指名審査委員長も町長も、なぜ1,500点なのか。

そしてもうひとつは、1,500万円ほどしか違わない、この松波中かな。640点。金額にして1,500万円ほどしか違わないのがなぜ640点まで下がるのか。これをきちっと説明をいただきたいと思います。私はもっと誰が聞いても分かるような入札の基準を作っていただきたい。奥能登で、石川県でも、「何だこれは能登町は。」と言われるような今回は入札の仕方なんです。石川県にひとつもない。石川県で一番多い工事高の真柄建設でも1,300点近く。それ以上の1,500点の入札。私はこれは納得がいかない。だからくどいようですが、そういう工期の遅れだとか、そういうものにやるんなら、奥能登のほかのところは全部やらないはずなんです。他が全部しとって能登町だけがそういう理想の基準を掲げたということを、私は指名審査委員長、それから町長、改めてこの答弁をもらいます。

議長（山崎元英）

副町長 田下一幸君。

副町長（田下一幸）

議員さんのご質問にお答えしたいと思います。1, 500点以上になぜしたかと。1, 500点のことにつきましては、私、元々この工事をする予算を持つときに教育長でした。そういったときから、この仕事に関してはやっぱり、安心・安全、ましてや子どもがいると。そして学校の授業をやりながら、土曜日曜、夏休み、工期は結構長いみたいですけど、実際工事をするのは集中的な期間であります。そういう意味で私が一番、安心・安全ということを感じながら、1, 500点以上という、少し議員さんのお言葉を借りますと、ハードルが高かったのかもしれませんが、私どもとしてはそれが一番ベストであるという認識をしておりました。

また、さりとて、今言われる1, 300点、それ以下の業者さんは出来ないのかと、そういうことは決して申し上げているつもりはありません。そういう方々を対象者にすることが、この事業を行うにあたって、一番ベストであると認識いたしておりました。他町さんの例も挙げられましたが、私ども能登町の指名審査委員会としてはこれが一番いいのだろうということでもあります。

また、分離につきましても、先ほど監理課長が申し上げましたとおり、工事の一体性、現場の管理、何においても子どもの安心・安全ということを考えたときに、これは一括してやるべきであると。複数の管理監督者がいたのでは、それぞれのいろんな意味で、さらにスムーズに行く為には、そのことがベストであるという判断の下で今回はこのようなことにさせていただきました。

また、先ほど旧松波の学校の数年前の業者名については、教育委員会の方で十分に掌握していなかったことに関しては、議案として出しているにも関わらず、少し不勉強であった点については、お詫び申し上げます。

また、先ほど議員さん、数字を挙げられて指摘されましたが、それは入札率を申し上げられましたが、これは結果の話であります。それは始めからそういうことを想定しているではありません。予定価格と最低制限価格の中で一番入札条件に応じた人に対して、契約予定候補者になっていただくというのが、一般競争制限入札の主旨でありますので、いずれにしても一般競争制限入札と。制限付きの一般競争入札であります。特に新聞紙上等でも見ておられますとおり、議員さんもお承知のとおりですけど、これのメリット、デメリットというものがありますが、今の社会すう勢と申しますか、状況は一般制限競争入札で行いなさいという問題と、若干その地域性というものを重視したときの相矛盾する点もありますが、基本的には特殊なものを除き、地域経済が潤うような

考え方で入札執行に当っていきたいと考えておるところでありますので、よろしく願いいたします。

議長（山崎元英）

町長 持木一茂君。

町長（持木一茂）

今回の学校の耐震補強改修工事に関しましては、今ほど監理課長、あるいは指名審査委員長である副町長が答えたとおりだと思っております。

多田議員がおっしゃるような日本のトップ企業というような言い方をされましたが、その方たちにとっては非常に金額的には微々たるものかなというふうに思っております。逆にそういったトップ企業の方が能登町の学校の耐震補強工事に関しまして、応札していただいたということで私は逆に感謝したいというふうに思っております。

議長（山崎元英）

17番 多田喜一郎君。

17番（多田喜一郎）

今ですね、指名審査委員長、副町長の話にもありましたが、分離発注は経費の問題で中々出来ないというようなことなんですが、私はこれについて本当にそういう経済的にやれば4箇所一緒に出してもいいんですよ。大手ならば。なぜ学校同士分けなきゃならない。全部集めたって4億円か5億円の仕事。何十億円の仕事をしている企業に対してですね、私は本当にそういう節約の観点からいくのなら一緒に出してほしかった。

それからもうひとつは、今言ったみたいになぜ1,500万円ほどしか変わらないやつを640点と1,500点以上にするのか。これは非常に問題ですよ。だからそういうことが私は、町民がこれなら仕方ないというような疑問に感じないような入札方法をぜひ早く作っていただきたいということを言いまして私の最後の質問にします。

議長（山崎元英）

副町長 田下一幸君。

副町長（田下一幸）

今、議員さんが提言されたことに対して今ここで答弁するというものではな

く、議員さんの言われたことも踏まえながら、今後の能登町の入札等について十分な思いを持って、今後執行したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

議長（山崎元英）

ほかに質疑はございませんか。 11番 宮田勝三君。

11番（宮田勝三）

多田議員の方からかなり質問がありましたので、副町長の方から校舎については夏休みじゃない授業をしながらする場所もあるから安心・安全を考えたという、それは本当なんですか。夏休み中に終わらないんでしょうか。

議長（山崎元英）

学校教育課長 井口潔君。

学校教育課長（井口潔）

ご説明いたします。この耐震補強事業は平成21年度の繰越事業として予定しております。工期的には議会の承認いただいて9月30日までを工期として仕事を進めたいと思います。ということで8月に集中的に工事をし、9月までに完成ということを目指しております。

議長（山崎元英）

11番 宮田勝三君。

11番（宮田勝三）

まとめて話をさせていただいて終わりにしたいと思います。

体育館については先ほどから安全・安心ということで、点数がどうのとか、そういったことで安全・安心は校舎にウェートを置いたからというような感じで答弁を承ったわけなんですけど、私は体育館についても同じレベルの安全・安心を考慮した上での入札執行に当たっていただきたかったなと。それはなぜかと言いますと、もはや統合されました神野小学校におきまして、校舎の方が古かった。体育館の方は後から出来て新しかった。けども半島地震において不幸中の幸いといいますか、統廃合のセレモニーが行われた翌日あの地震がありまして、天井が落下しました。先生方がその後始末をして脚立の上に乗っているときに地震がございまして、それも不幸中の幸いで入院するような怪我もしなくて終わったんですけども、あの無残な天井の落ち方を見たときに、地震、

災害は不慮のときにやってくるわけですので、子どもが使っていようがいまいが、たまたま使ったときに事故があるかもしれないし、地震があるかもしれないわけなんです。先ほどから安全・安心という言葉は何回も聞きまして、体育館にはそれほど校舎よりウェートを置かなかったようなお話をされましたけれども、私はこの耐震補強については体育館であろうが廊下であろうが校舎であろうが全く同じだと思いますので、先ほどからの多田さんの発言も含めてそういった安全・安心はいかにしても体育館と校舎は違うというような考え方はやめていただいた発注の仕方をしていただきたいなということを申し添えて終わりたいと思います。

議長（山崎元英）

5 番 向峠茂人君。

5 番（向峠茂人）

全協のほうでもお伺いしましたが、鵜川中学校は不調に終わったと聞いています。この執行はいつされるのか。入札執行。

それと先ほどから問題になっている1, 500点の業者ですが、その1, 500点の優秀なゼネコンが今回の耐震の入札において2社が失格ということを、ちょっと聞いています。どういうことで失格されたのかその2点について説明願います。

議長（山崎元英）

監理課長 谷内正廣君。

監理課長（谷内正廣）

それではただ今の質問につきまして、お答えいたします。

これはご質問は鵜川中学の失格ということですか。聞かれたというのはちょっと意味が分からないんですけども、失格というのは私どもにはちょっと考えが及ばないんですけども。どの辺で聞かれたのかも私はちょっと分かりませんけれども。失格というのは私らの認識にはないです。

議長（山崎元英）

5 番 向峠茂人君。

5 番（向峠茂人）

答弁がひとつ抜けています。

議長（山崎元英）

学校教育課長 井口潔君。

学校教育課長（井口潔）

先ほども説明しましたように、この事業は21年度事業です。21年度事業ですが、繰越事業でやる予定ですけれども議会の議決をいただかなきゃなんということです。3月中に議会の議決をいただくように作業を進めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

議長（山崎元英）

5番 向峠茂人君。

5番（向峠茂人）

監理課長の答弁がちょっと。私もこれ、ここでそういうことを言ってもいいのか分かりませんが、監理課長が私の沿った答弁をされなかったのと言いますけど、話によると素晴らしいゼネコンの集まりなのに、入札に見積書を持参しなかったのが失格としたと、そういうことを聞いています。それでよろしいですか。

議長（山崎元英）

監理課長 谷内正廣君。

監理課長（谷内正廣）

それではお答えいたします。改めてお聞きしますが鶴川中学の件かなあということで、鶴川につきましては失格という言葉じゃなくて、無効というふうな言葉でございます。内容につきましては、先ほど申しましたとおりに、書類の不備ということで無効ということでございます。

議長（山崎元英）

他に質疑はありませんか。13番 鍛冶谷眞一君。

13番（鍛冶谷眞一）

今ほど向峠議員からも話があったかと思うんですが、不調に終わった鶴川のことに関して、課長の方からも地域活性化臨時交付金事業だから21年度にしたいということですね。この1件だけが不調に終わったから議案審査の場に

出てこないということなのですが、よく考えて欲しいのは真ん中にいるのは、小中学校の生徒達です。生徒達の安全と安心です。そして町民の安全と安心です。そうした場合にこの地域活性化臨時交付金事業ですか。この事業をちゃんと使ってやりたいということですから、議案に出して可決を得やすい状況というのはあると思うんです。そういうふうにもまず出してほしいということが1点と、そして不調に終わった鵜川の1件は3月の当初予算のときに補正として出てくるのかどうかを確認したいと思います。

議長（山崎元英）

学校教育課長 井口潔君。

学校教育課長（井口潔）

ご説明いたします。その点については現在まだ協議中でございます。そう言いながらも3月中に議決を得なきゃならないということですので、事務的にはそういう方向で進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

議長（山崎元英）

13番 鍛冶谷眞一君。

13番（鍛冶谷眞一）

はい。明許繰越折込済みで何とか可決になるような、いい議案で出して下さることを切に願って質問を終わります。

議長（山崎元英）

よろしいですか。ほかに質疑はございませんか。

（「質疑なし」の声）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討 論

議長（山崎元英）

これから討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

採 決
議案第 1 号～議案第 5 号

議長（山崎元英）

これから、議案第 1 号「財産の取得について」を採決します。

お諮りします。議案第 1 号は原案のとおり決定することに賛成する諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

ご着席ください。起立全員であります。よって議案第 1 号は、原案のとおり可決されました。

これから、議案第 2 号から議案第 4 号までの 3 件を一括採決します。

お諮りします。

議案第 2 号「請負契約の締結について（平成 21 年度安全・安心な学校づくり交付金事業）能登町立小木小学校（校舎）耐震補強改修工事）」

議案第 3 号「請負契約の締結について（平成 21 年度安全・安心な学校づくり交付金事業）能登町立柳田中学校耐震補強改修工事）」

議案第 4 号「請負契約の締結について（平成 21 年度安全・安心な学校づくり交付金事業）能登町立松波中学校（屋内運動場）耐震補強改修工事）」の 3 件は原案のとおり決定することに賛成する諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数であります。よって議案第 2 号、議案第 3 号、議案第 4 号は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第 5 号「奥能登広域圏事務組合規約の変更について」を採決します。

お諮りします。議案第 5 号は原案のとおり決定することに賛成する諸君の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

挙手全員であります。よって議案第5号は、原案のとおり可決されました。

以上で、本臨時会に付議されました議件は全部終了しました。

ここで、町長から発言を求められておりますので、これを許します。

町長 持木一茂君。

町長挨拶

町長（持木一茂）

平成22年第1回能登町議会臨時会の終わりにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。議員各位におかれましては慎重なご審議を賜り、そして提出案件を原案どおり承認可決していただきまして誠にありがとうございます。

今年1月中旬、ハイチで発生した大地震は、全土に壊滅的な被害を与え、死者が23万人を超えるというような悲惨なニュースが流れていました。

犠牲者の皆さんには追悼の意を表しますとともに、1日も早い復興をお祈りするものであります。災いはいつ何処で起こるか誰も予知することは出来ません。

将来ある児童生徒が安心して学べる施設を確保するとともに、本町の地域住民の生命と財産の安全確保、並びに町民の防災意識の高揚を図りまして、被害の未然防止に最善を尽くすべく、執行に当たりますので議員各位のご支援、並びに町民各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日はどうもありがとうございました。

閉 議・閉 会

議長（山崎元英）

これをもちまして、平成22年第1回能登町議会臨時会を閉会いたします。皆様どうもご苦労さまでした。

閉会 午後1時00分

上記、会議の経過を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 22 年 2 月 23 日

能登町議会議長 山 崎 元 英

署 名 議 員 菊 田 俊 夫

署 名 議 員 石 岡 安 雄